

郵便はがき



ニッシン債権回収株式会社 株主通信

第9期 第3四半期報告書 平成21年4月1日 ▶ 平成21年12月31日

- 株主名簿管理人 みずほ信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所 〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL. 0120-288-324



■ 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、輸出及び生産は増加し、設備投資は下げ止まりつつあるものの、公共投資は頭打ちとなり、低調な企業収益状況を背景に雇用、所得環境は厳しい状況が続いております。

当社グループの事業環境におきましても、金融市場の信用収縮の長期化、不動産市況の著しい低迷及び流動性の低下等、厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、資産と負債の圧縮及びコストの削減、受託業務の拡大等による資金効率を高めた収益構造への転換を図ることを重点課題とし、経営改善に努めております。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長

ごうだ ますみ
合田 益己

■ 会社の概要 (平成21年12月31日)

商号	ニッシン債権回収株式会社 (NISSIN SERVICER CO., LTD.)
設立	平成13年7月11日
本社	東京都千代田区九段南4-2-11市ヶ谷フィナンシャルビル TEL. 03-5210-1751 (代表)
営業許可	平成13年10月25日 (法務大臣許可番号第58号)
資本金	30億3,632万円
従業員数	54名

第9期(平成22年3月期)第3四半期 連結決算ハイライト

連結営業収益 **9,272**百万円 (前年同期 10,236百万円)

連結経常利益 **△227**百万円 (前年同期△5,831百万円)

連結四半期純利益 **238**百万円 (前年同期△7,538百万円)

■当第3四半期の経営成績

当第3四半期連結累計期間の営業収益につきましては、買取債権回収高は3,104百万円(前年同期比51.6%減)、また、不動産売上高は4,632百万円(同84.8%増)となり、その他の収益1,535百万円(同16.3%増)を合わせ、合計では9,272百万円(同9.4%減)となりました。

営業費用につきましては、買取債権回収高に伴う債権買取原価2,174百万円(同52.2%減)、不動産売上原価4,416百万円(同25.2%減)となり、その他の原価131百万円(同20.8%減)を合わせ、合計では6,723百万円(同36.7%減)となりました。この結果、営業総利益は2,548百万円(前年同期は営業総損失△385百万円)となりました。

販売費及び一般管理費につきましては、主に給料手当156百万円(前年同期比59.4%減)、貸倒関連費用352百万円(同84.3%減)等を計上し、合計1,391百万円(同61.8%減)となりました。この結果、営業利益は1,157百万円(前年同期は営業損失△4,027百万円)となりました。

営業外収益は、主に受取利息55百万円(前年同期比241.9%増)及び持分法による投資利益55百万円の計上により、合計で175百万円(同113.4%増)となり、また、営業外費用につきましては、主に支払利息1,424百万円(同8.6%減)により、合計で1,560百万円(同17.3%増)となりました。この結果、経常損失は△227百万円(前年同期は経常損失△5,831百万円)となりました。

また、特別利益25百万円(前年同期比7.7%減)、法人税等関連費用18百万円(同98.9%減)、連結子会社(有)ジェイ・ワン・インベストメンツ等の欠損金の繰戻還付請求による法人税等還付税額△503百万円、少数株主利益44百万円の計上により、四半期純利益は238百万円(前年同期は四半期純損失△7,538百万円)となりました。

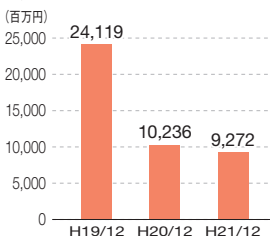
■ 第3四半期の資産、負債、純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、32,832百万円(前連結会計年度末比10.6%減)であり、このうち買取債権は18,347百万円(同8.7%減)、買取不動産は8,631百万円(同33.3%減)、また、これらの資産に対するものを含めた貸倒引当金は3,658百万円(同11.8%減)となりました。

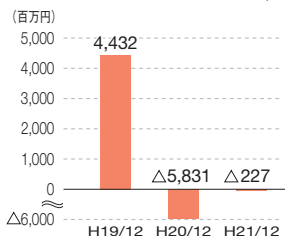
負債合計は24,376百万円(同26.1%減)であり、このうちの主なものは、社債、長期借入金及び短期借入金等の有利子負債23,549百万円(同26.6%減)であり、総資産有利子負債比率は71.7%となりました。

資本金及び資本準備金が、第三者割当てによる第1回第一種優先株式の発行(払込日平成21年6月29日)によりそれぞれ1,000百万円増加し、利益剰余金が、四半期純利益の計上により238百万円増加したことから、株主資本は2,869百万円(同316.2%増)となりました。また、評価・換算差額等△10百万円、新株予約権65百万円(同7.0%減)、少数株主持分5,531百万円(同88.0%増)を合わせて純資産額は8,456百万円(同128.4%増)となりました。なお、自己資本比率は8.7%となり前連結会計年度に比べ6.8ポイント増加いたしました。

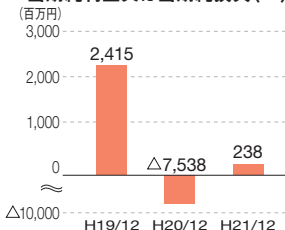
■ 連結営業収益



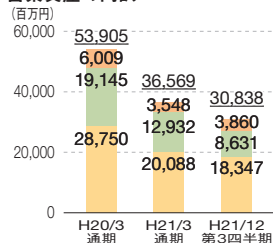
■ 連結経常利益又は経常損失(△)



■ 当期純利益又は当期純損失(△)



■ 営業資産の内訳



■ 第3四半期累計

■ 買取債権

■ 買取不動産

■ 組合出資等